

I 目指す学校像

教育目標「健康で思いやりがあり、実行力のある生徒を育成する」のもと

- (1) 明るく元気に進んで挨拶する学校。
- (2) 全生徒が学習活動や学校行事等に全力で取り組み、自校と自分自身に誇りの持てる学校。
- (3) 生徒会活動、部活動を通して、社会に貢献できる人材を育てる学校。

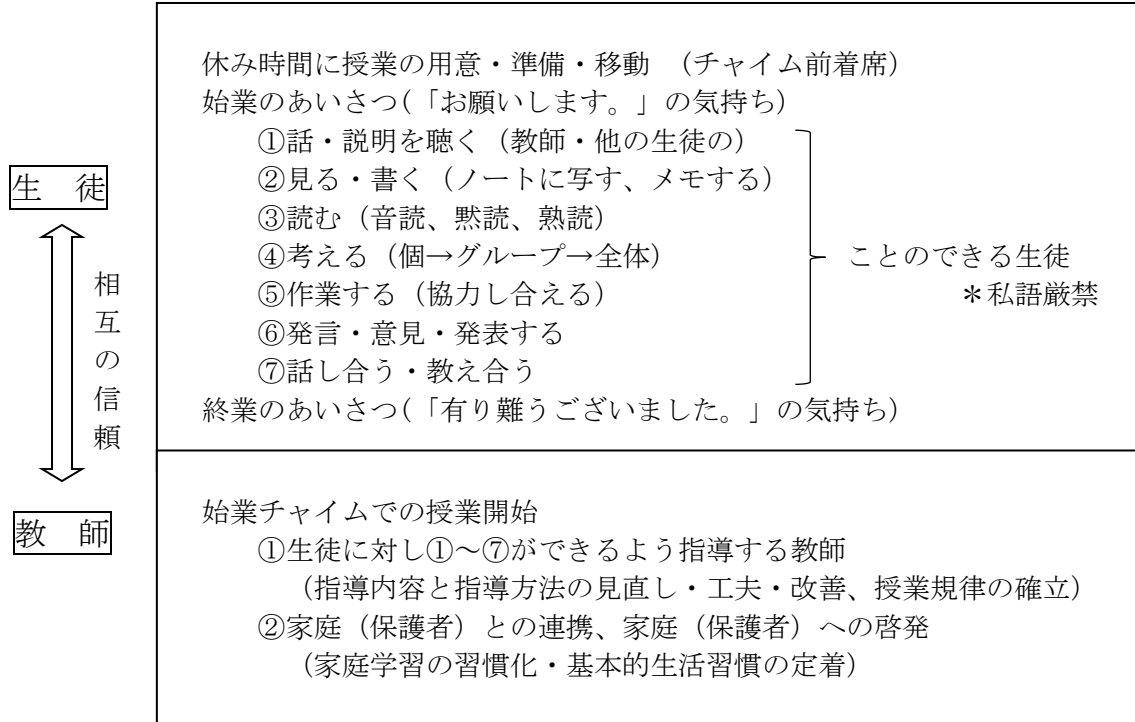
II 目指す生徒像

- ・学習や様々な活動に意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒。
- ・社会のルールを理解し、規範意識を身に付け、社会に貢献しようとする生徒。
- ・人の立場を理解し、思いやり、協調性のある生徒。
- ・心身を鍛え、向上心のある生徒。

III 目指す教師像

- ・広い視野に立ち、固定観念にとらわれず新しい発想と当事者意識をもって、組織的に行動できる教師。
- ・特別支援教育の視点を常に持ち、生徒一人一人の心情を大切にしながら、生徒理解に努め、どの生徒にも公平に対応できる教師。
- ・保護者・地域の願いや思いを理解し、応えることができる教師。
- ・新学習指導要領及びGIGAスクール構想の趣旨を踏まえ、研修に励み、自己の授業力向上を目指すとともに、意欲的に授業を参観し、自他の授業改善に努める教師。
- ・校内OJTを日常的に実践し、研鑽に励み、自己の能力と資質の向上に努める教師。
- ・互いのコミュニケーションを大切にし、一丸となって教育目標を達成しようとする教師。
- ・いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然とした態度で指導できる教師。

IV 南六郷中学校の授業



V 中期的目標

- (1) 基礎学力の定着と規則正しい生活習慣が身に付く学校を目指して
 - ①生徒の実態に応じた教育課程を編成し、年間指導計画に基づき、意図的、計画的、継続的に指導を進める。
 - ②校内研修やOJT研修、公開授業、授業観察等を通して、教員の授業力向上を図る。
 - ③生徒が主体的に学習に取り組めるように、各授業で「生徒が考える時間」を確保する。
 - ④国語科を核とした教科横断的な学習や朝の読書活動、読書週間の推進、新聞購読により読み解く力の育成を図る。
 - ⑤道徳教育推進教師を中心として組織的に「特別の教科道徳」の充実を図り、生徒の道徳性の涵養に努める。
 - ⑥元気に自発的に挨拶・返事ができる生徒を育成する。
 - ⑦「時間を守る」「身だしなみに気を配る」「ていねいに掃除ができる」等の基本的生活習慣の定着と規範意識を身に付けさせる。
 - ⑧「いじめ対応委員会」を核とし、組織的にいじめの未然防止・対応に努める。
 - ⑨スクールカウンセラーや外部機関等と連携し、教育相談活動の推進及び不登校の未然防止・解消を図る。
- (2) 生徒一人一人が活躍できる学校を目指して
 - ①生徒と教職員が一体となって学校行事や生徒会活動、部活動等を活性化し、生徒の自尊感情を育みながら、明るく活気に満ちた「スポーツと文化の南六中」を築く。
 - ②「キャリアパスポート」を活用した進路学習を充実させ、3年間を見通した進路指導を推進することで、生徒が社会の変化に主体的に対応し未来を創造的に生きる力を育成する。
 - ③特別な支援が必要な生徒に対し、特別支援コーディネーターを核にサポートルームやスクールカウンセラー、巡回心理士、外部機関等と連携した組織的な相談活動を進め、生徒や保護者のニーズに対応した支援を行う。
- (3) 地域社会に貢献できる生徒を育てる学校を目指して
 - ①近隣の小学校、都立特別支援学校と連携し、交流活動等を積極的に推進する。

VI 今年度の重点目標と方策

- (1) 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた教育活動、及び新型コロナウイルス感染症に関わる生徒の心のケアと人権に配慮した生徒指導。
- (2) 大田区教育委員会研究推進校として、生徒用タブレットを積極的に活用し「主体的で対話的な深い学び」、「ICTの効果的な活用」を通じた授業の充実を図る。
- (3) 新学習指導要領の趣旨に沿った「指導と評価の一体化」を推進するとともに、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒に未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育む。
- (4) 保護者と連携し、生徒用タブレットを活用した「家庭学習」の充実を図る。
- (5) スクールカウンセラーや外部機関と連携し、不登校、いじめの未然防止・解消及び特別支援教育の充実を図る。
- (6) 体罰、個人情報漏洩、セクシャルハラスメント等の服務事故を起こさない、起こさせない、風通しの良い職場づくりの推進。
- (7) 管理職が、教職員のライフワークバランスを鑑みながらメンタルヘルスケアに努める。

VII 数値目標

- ・ 生徒によるアンケート「授業は楽しくわかりやすい」が90%以上。
- ・ 保護者によるアンケート「本校の授業は生徒にとってわかりやすい」が85%以上。
- ・ 生徒の家庭学習時間「1時間程度行う」が90%以上。
- ・ 教員の生徒用タブレットを活用して授業を行う割合が週に1回以上。
- ・ 読書活動推進目標「生徒の1ヶ月平均読書冊数」3冊以上が50%以上。
- ・ hyper-QUにおいて要支援生徒の割合が4%未満。